



昨年の「アートパーク9」で登場した巨大船「あつまる丸」＝聖徳大学提供

夏名物アートパーク10年目

松戸市の松戸中央公園で7月2日、大人から子どもまで遊べるイベント「アートパーク10 ラブ&ピース大作戦」が開かれる。大勢の人が集まる公園にしようと、地元の聖徳大学の児童学研究所と生涯学習研究所が主催。今回は10年目で、約2千人の市民が参加する夏の風物詩になった。

今年と同大のゼミや千葉大の研究室のほか、保育園や市民団体「パラダイスエア」など14団体がワークショップを開催する。

聖徳大児童学科の大成哲雄教授のゼミは、長さ約5メートルの段ボール製の巨大なカメレオンを出品。参加者が思い思いに色付けし、学生らも小さなカメレオンを作って周囲に並べる。

参加者が大切なものをしませ

松戸で来月2日 段ボール使い体験楽しむ

る宝箱を段ボールで作るコーナーでは、聖徳大短期大学部保育科の学生たちが協力。ペットボトルでロケットを作ったり、オリジナル曲にあわせて踊ったりするワークショップもある。

聖徳大が学生や市民ボランティアと始めた「アートパーク」。2008年の1回目に約80人だった参加者は年々増え、昨年7月の9回目は幼児や児童、保護者を中心に1874人が参加した。今年は、小学生の時に参加した高校生がボランティアとしての参加を申し出ているという。

午前10時～午後3時。参加無料(事前申し込み不要)。来場は汚れてもいい服装で。

問い合わせは同大生涯学習研究所(047・365・5691)へ。
(青柳正悟)